

ローレンツセンターワークショップ “Innate Immunity of Crop, Livestock and Fish: The Dawn of Agricultural Immunology” を開催

オランダ・ライデン大学のローレンツセンター (<https://www.lorenzcenter.nl/>) が主催する公募型ワークショップに採択されました。

(<https://www.lorenzcenter.nl/lc/web/program.php3?jaar=2016>)

東北大学からはCFAIを中心に大学院農学研究科、医学系研究科から12名、オランダ・ワゲニンゲン大学から8名、オランダ・ユトレヒト大学から5名、米国・カリフォルニア大学デービス校から1名の研究者が参加し、平成28年9月18日から23日までローレンツセンター@Snelliusにおいて開催されました。



家畜免疫、海洋生物免疫、植物免疫などの研究者と特別講演者が参加し、研究発表と活発な討論が行われました。異分野の研究者が一堂に会し、新学問領域「Agricultural Immunology」の創成と、薬のみに依存しない安全な食料生産の実現に向けて熱心な討論が行われ、すべての参加者にとって斬新かつ刺激的なワークショップでした。

(<https://www.lorenzcenter.nl/lc/web/2016/838/program.pdf>)

また、グループ討論や自由討論を中心としたワークショップであったことから、次のワークショップに向けてのテーマの絞り込み、共同研究の提案、学生を含めた人事交流の促進などについて具体的な提案がなされました。今後の相互交流のより一層の促進が期待されます。

歴史的にみてオランダは日本の鎖国時代から唯一国交のあった国です。ライデン大学には長崎の出島に医師として滞在したシーボルトゆかりの日本庭園が存在します。ワークショップ期間中には日本庭園での食事会やライデンの運河をまわるボートツアーなども開催され、日本・オランダの参加者にとってさらなる親密な交流の機会を得ることができました。今後のCFAIの研究活動と国際交流に寄与するものと思われます。また、今回のワークショップでAgricultural Immunology Network (AIN) の構築が新たに提案され、今後の益々の発展が大いに期待されます。

なお、次回のローレンツセンターワークショップは、白川先生、原田先生を中心にCFAI食品安全・機能評価部門からの応募が予定されています。



ワークショップ参加メンバー



グループ討論



フリー討論